

豊平峡・定山溪ダムの防災操作と効果 (平成25年4月7日)

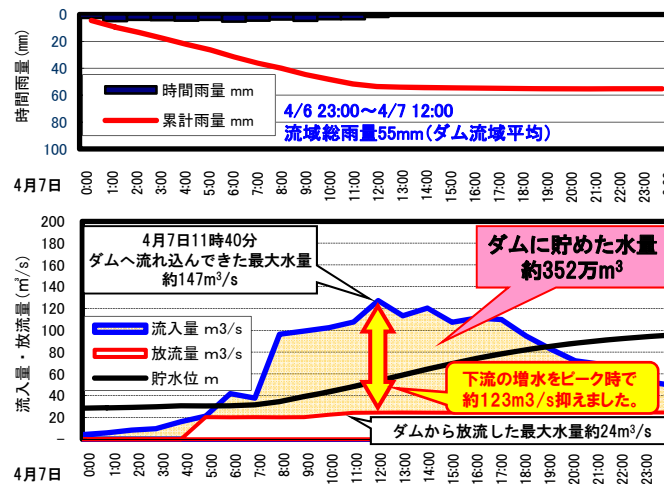
とよひら
～豊平川の水位を約1m低下～

- 平成25年4月6日からの融雪及び降雨により、石狩川水系豊平川流域では流域平均総雨量54mmを観測し、豊平峡ダムへの最大流入量は約147m³/s、定山溪ダムへは約72m³/sの流入量を記録しました。
- 今回の防災操作において、豊平峡・定山溪両ダムでは合せて約416万m³(札幌ドーム約3個分)の水を貯留し、下流の河川へ流す水量を最大で約180m³/s(約9割)低減させました。
- この結果、ダム下流の雁来水位観測所地点(北13条大橋付近)では水位を約1m低下させ、「はん濫注意水位」を超える水位上昇を抑制したと推測されます。

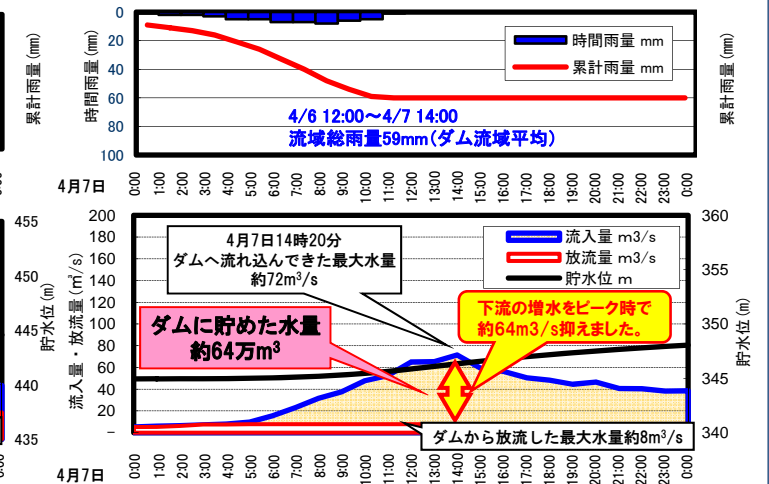
豊平峡ダム・定山溪ダム位置図



豊平峡ダムの防災操作



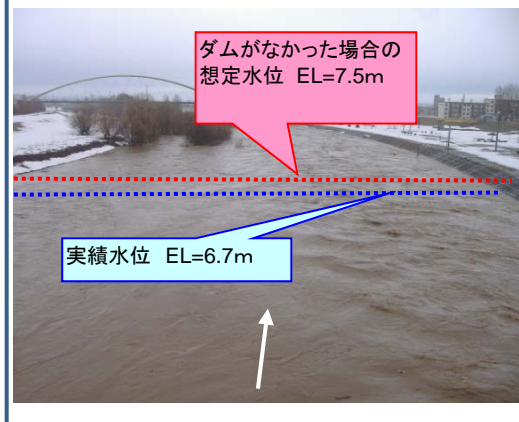
定山溪ダムの防災操作



豊平峡ダム貯水状況



雁来水位観測所付近



雁来水位観測所地点における水位低減効果

